公益財団法人 旭硝子財団

**2021年度採択・2020年度募集「ステップアップ助成」申請書**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **分野**いずれかに囲み線をつける | | 化学・生命 物理・情報 　建築・都市 人文・社会科学 | | | |
| **研究課題** | | | | | |
| **申請者**  氏 名： xx xx　　　（フリガナxxxxx　xxxxx）　　　　　生年月日：19xx年 xx月 xx日（xx才）  所属機関： xx大学大学院xx研究科xx専攻  職位：xx　　　　　　　　　　　＜職位： 常勤／それ以外　(どちらかに囲み線をつける)＞　＜任期付の場合：20xx年 xx月までの任用見込＞  ＜クロスアポイントメント： 無／有　(どちらかに囲み線をつける)　 ※有の場合、上記所属機関の割合は、xxパーセント＞  所属機関所在地：(〒xxx-xxxx) xxx県xxx市xxx町xxx  [TEL] xx-xxxx-xxxx [上記所属機関の本人E-Mail] xxxxx@xxx.ac.jp | | | | | |
| **申請研究期間**  いずれかに囲み線をつける | 3年間  4年間 | **助成額区分** いずれかに囲み線をつける | 実験研究調査研究 | **助成申請額**  研究期間を通じた合計額 | xx,xxx千円 |

（下の文章記入欄には4ページ目以降の記述内容を要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください）

|  |  |
| --- | --- |
| **申請者が過去に旭硝子財団から助成を受けた研究課題**  ・プログラム(いずれかに囲み線をつける)： 研究奨励 　若手継続グラント  ・分野(いずれかに囲み線をつける)： 第1分野 第2分野 第3分野 人文･社会科学系  ・研究課題名: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx  ・採択年度： 201x年 ・助成期間： x年間 ・助成総額： x,xxx千円  ・成果(進捗実績)に関する自己評価： | |
| **今回申請する研究の概要**  １）研究の背景と目的・目標： 過去に当財団から助成を受けた研究テーマを、今後どのように発展させるのか  ２）ブレークスルー(アプローチ)の方法：どのようにして課題を達成/解決/克服するのか  ３）研究の独創性･独自性：類似の研究とは何が違うのか、独自の発想は何か  ４）研究の学術的または社会的な意義と波及効果 | |
| **１．申請者の略歴、研究分野、業績** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください  １）学歴･職歴(大学入学から記載してください)  ※クロスアポイントメントの場合、それぞれの勤務先の従事割合を記載してください。 　○○大学　□％、××研究所　△％  ２）申請者が過去に旭硝子財団から助成を受けた研究テーマの概要と成果（進捗実績に関する自己評価）  ３）上記以外の主な研究実績  ４）受賞関係（年月、表彰機関、受賞の名称、題名など） | |
| **２．共同研究者**(申請者と共同して研究PJ全体に参加する研究者)、**研究協力者**(補助的あるいは部分的に参加する研究者)： どちらであるかを囲み線で示してください  ①〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力）  ②〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力）  ③〔氏名・年齢〕 （ 才）  〔所属機関・職名〕 （共同，協力） | |
| **３．今回申請する研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください  １）研究の背景と目的･目標 過去に当財団から助成を受けた研究テーマの目的･目標や成果と対比し、今後どのように発展させるのかがわかるように書くこと  ２）設定された課題に対するブレークスルー(アプローチ)の方法 どのようにして課題を達成/解決/克服するのか  ３）類似の研究に対する先行性、研究の独創性･独自性 類似の研究とは何が違うのか、独自の発想は何か |
| （各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください）  ４）研究の学術的または社会的な意義と波及効果  ５）研究計画 助成金の使途と関連づけながら時系列的に説明して下さい。矢印やテキストボックスなどを使っても構いません |

**４．助成金使途内訳** (記入例をアンダーラインで示しました。使途として例えば人件費は認められません。  
詳細は当財団ホームページに公開の「研究助成の手引き」をご参照ください)

〔金額単位：千円〕

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 内容・使途説明 |
| ＜設備・備品費＞  ・必要な消耗品費等も申請してください  装置A  装置B  装置C  ＜消耗品費＞  Ｃ器具部品  Ｄ薬品  ＜旅費＞  ・受領者本人の旅費が原則です  東京～京都  東京～鹿児島  東京～バンクーバー  東京～フランクフルト  ＜謝金･外注作業費＞  ・学生が本来行うべき教育研究活動への対価には使えません  学生アルバイト  同上  ＜その他＞  ・論文掲載費  ・通信費  ・会議費  ・施設使用料  ・学会費、参加費  ・学会年会費には使えません  ＜所属機関に支払う間接経費※＞  ・原則として機関に支払う間接経費（オーバーヘッド）をお断りしています。採択後に学内で免除申請を行ってください | 4,500  0  0  180  300  100  50  0  0  150  0  0  0  0  70  0  107 | 0  2,600  0  120  280  100  0  250  0  50  0  0  0  170  80  50  74 | 0  0  500  300  100  100  0  0  300  100  400  0  20  170  80  50  42 | 0  0  0  300  350  100  0  0  300  200  200  100  0  500  0  50  42 | ○○成膜装置  ○○反応器真空度向上(改造)  ○○計測装置改造  検査キット、単価○○円、○○個  合成用薬品、単価○○円、○○個  共同研究者との打合会合 毎年4回  学会発表  学会発表、○○教授打ち合わせ  学会発表、○○教授打ち合わせ  ○○でのフィールド計測調査○○時間  資料整理作成手伝い  論文掲載費  海外への資料発送費  シンポジウムの会場費、資料作成費  プロジェクト推進のためのスペース代  本プロジェクトに関して××学会に参加予定  間接経費2％（免除不可） |
| 小　　　計 | 5,457 | 3,774 | 2,162 | 2,142 |  |
| 合　　　計 | 13,535 | | | |

※間接経費の免除が不可能な場合には、間接経費を計上してください。間接経費が助成額の5％を超える場合は採択の対象になりません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **５．研究資金の受領状況** 科研費等の国の競争的研究費、民間財団等からの助成金はすべて該当します  ※チーム研究の場合は申請者に直接かかわる金額を記入してください  １）申請者が2019年度以降に受領した競争的研究資金（すべて記載してください）  助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて書いてください   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 受領  年度 | 助成金の名称 | 受領者名 （チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※  （千円） | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  | | ～ |  |  |  |  |   ２）申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する競争的研究資金（すべて記載してください）  同じ研究（使途）内容で他の機関に助成申請されることは差し支えありませんが、本申請と類似申請が重複でない場合は、相違点を６.の空欄にご記入ください。同一研究内容で他の機関からも重複して採択された場合には、必ず当財団にご連絡ください。どちらかの助成をご辞退いただきます。   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 年度 | 助成金の名称 | 受領者名 （チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※  （千円） | 採択内定  時期 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |  |  |  |  |  | ××年  ××月 | |
| **６．選考において配慮を希望する事項** (自由記載) |

**７．関連論文リスト**本申請に関連する2015年以降の申請者自身の論文リストをこのページに収まる範囲で作成してください。すでに刊行されたものを対象としますが、Acceptされているものも注記を添えて下されば記載して結構です。代表的論文１件に○印を付けるとともに、その○印を付けた代表的論文1件のPDFファイルを本申請書と同時に提出してください。

＜査読論文（掲載またはAccept）＞ **査読論文の中から添付論文を選び、○印をつけ1行目に記入してください。**

添付の代表的論文

1．

2．

3．

＜それ以外＞